

◆多種材質に対応させたい

多様な材質に合わせた設定を簡単に行いたい

アルミ、銅など非鉄金属にも対応！

ACCESSの
レベラフィーダで

■ お客様加工内容：自動車部品

【Before】

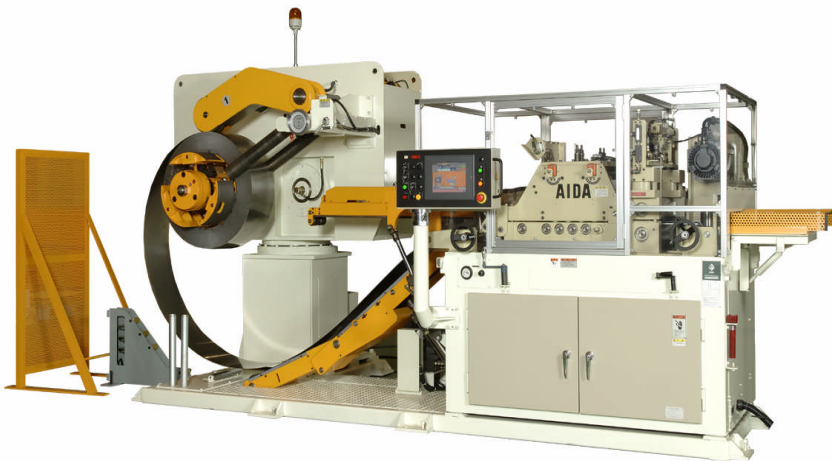
■ ご相談時の状況：

鉄だけでなく、アルミや銅も加工。

材質が変わるごとに圧下量をその都度調整していた。

【対策】 圧下量を自動計算し、設定値を登録できるデータバンクを導入

データバンクに降伏点応力と板厚を登録し、
圧下量を自動計算する機能を導入！



★圧下量の自動演算機能



板厚と降伏点応力を入力することにより、圧下表を見ずに圧下量をデータバンクに登録できます。

【After】

データバンクで降伏点応力と板厚を登録するだけで
最適な圧下量の自動計算が可能になりました。

詳細は
お問合せください